



## 仮設住宅・在宅被災者への支援活動 ～6.9 支援行動報告～

毎月第2土曜は支援活動の日。6月9日(土)も被災地支援活動は引き続き地元団体との協同のもと、進められました。今回は仮設住宅への健康づくり支援(健康チェックと健康体操)と老人憩いの家での茶話会、そして地域訪問でした。医学生、薬学生、看護学生も参加した支援になりました。

被災地支援に入った山口課長(組合員活動部)のレポートです。

### ★健康づくり支援に

午前中は2つの班に分けて支援活動を開始。

1班(8人)は仮設住宅集会所で、NPO法人「ふれあいの四季」主催の喫茶企画のなかで健康チェックと健康体操。四季さん2人、みやぎ県南医療生協2人の皆さんと一緒に支援行動。参加者は11人で、まず全員が健康チェック。お茶のみ後は、阿部さん(大阪きづかわ医療福祉生協・介護福祉士)の指導で健康体操。

2班(6人)は老人いこいの家茶話会で、みやぎ県南医療生協2人と一緒に行動。参加者は9人で、全員健康チェック。はじめて参加したという人も。健康チェックの後は、「脳いきいき教室」で大きな笑い声がでるほど、盛り上がりました。



### ★震災経験の語りを熱心に聴く



午後は3グループに分かれての行動。①医学生のチームは地域のいちご班の方(2人)から、震災時の体験談などを聞き、質問も交え懇談。3時半くらいまで続いたので、最後は前支援者が話に聞き入った。

②看護師の2人は、茶話会で健康チェック(約15名参加)。雑談の後は、みんなで「脳いきいき教室」で大きな

笑い声に。③残ったメンバー(7人)は、7月支援イベント案内チラシとアスベスト被害裁判署名を持って地域訪問。あらかじめ、地図分けしていた三地域を訪問。雨が降り出す悪天候でしたが3チーム合計でおよそ30人と対話、署名は33筆、チラシ150枚配付となりました。



### ★7月支援の準備着々と

7月支援は大阪の医療生協・民医連法人が中心となって被災地支援バスを出して、「夏祭り」をみやぎ県南医療生協・いちご班とともに準備を進めています。7月以降も定例支援は続きます。震災支援活動に引き続きみなさまのご協力をお願いします。